

# 第一次世界大戦【目次】

はじめに

013

序 章 第一次世界大戦史をめぐつて

019

第一次世界大戦の名称／第一次世界大戦史研究の軌跡／戦争責任論争／戦争責任論争から修正主義へ／「合意」の成立とフィツシャー論争／大戦前史から大戦史へ

第一章 一九一四年——大戦の始まり

033

1 バルカン戦争から世界戦争へ

034

列強体制の二極化／三国同盟と三国協商／ドイツの世界政策／ヨーロッパ近代の開花——大戦直前のヨーロッパ社会／バルカン地域の流動化と列強の介入／ヨーロッパの火薬庫からヨーロッパの導火線へ／七月危機とドイツの「白紙小切手」／第三次バルカン戦争からヨーロッパ戦争へ／諸列強の思惑／内閣戦争から国民戦争へ／排外主義の高まり／举国一致体制の成立

## 2 緒戦の機動戦 <sup>o61</sup>

シュリーフェン作戦とその破綻／東部戦線での同盟軍の反撃／緒戦の大殺戮と「砲弾の危機」／市民の犠牲と難民／ドイツの戦略転換と戦線の拡大

## 第二章 物量戦への移行と防御の優位 <sup>o77</sup>

### 1 戰時経済体制の構築 <sup>o78</sup>

ドイツの戦時原料局／連合国側の戦時経済体制／戦時財政の財源／食糧危機と配給制の導入

### 2 膠着する戦況と両陣営の増強 <sup>o89</sup>

東部・バルカン地域での同盟国側の優位／オスマン帝国でのガリポリ戦／ブルガリアの参戦とセルビアの敗北／「神聖なエゴイズム」——イタリアの参戦

### 3 防御の優位——西部戦線での攻防 <sup>100</sup>

連合国軍の攻勢／新兵器・新装備の導入——航空機・毒ガス・鉄かぶと／鉄かぶとの普及／ドイツ軍の攻勢——ヴェルダン戦／ブルシーロフ攻勢とルーマニアの参戦／ソンムの戦い／経済封鎖と潜水艦戦／英独主力艦隊の大戦

## 第三章 戦争目的の重層化と総力戦体制の成立 <sup>125</sup>

### 1 戦争目的の錯綜と戦時体制の亀裂 <sup>126</sup>

国民国家の完成／列強間のヘゲモニー抗争と勢力圏分割構想／「革命化」政策／反戦運動の摸索と銃後社会の亀裂

### 2 一九一七年の危機——戦争指導体制の再構築 <sup>137</sup>

ドイツの総力戦体制／総力戦とは何か／オーストリアの解体の危機／連合国側の戦時体制の再建／ジークフリート線での攻防／フランス軍兵士の「反乱」と英軍攻勢／イタリアのカポレット戦敗北／兵士の暫壕生活／無制限潜水艦作戦の発動

## 第四章 大戦終結を目指して <sup>169</sup>

### 1 ロシアの脱落とアメリカの参戦 <sup>170</sup>

ロシア革命とロシアの戦争継続／アメリカの参戦／危機と転換の決算

### 2 決戦の年 <sup>180</sup>

ドイツ軍の西部大攻勢／連合軍の反撃——「ドイツ陸軍の暗黒の日」／同盟国の脱落／ドイツの

休戦と革命／休戦と講和／戦争捕虜／戦後の講和条約

おわりに——第一次世界大戦の歴史的位置 <sup>209</sup>

文献案内 <sup>218</sup>

第一次世界大戦関連年表 <sup>225</sup>